

特集 雨に寄り添う傘

水の文化50号 2015年6月

あなたは傘を何本もっているだろうか。ウェザーニューズが2014年7月24日に発表した「世界の傘事情調査」によると、日本の1人当たり傘所有数は「3・3本」で世界一だという。しかし、身近な存在であるはずの傘について、私たちはあまり深く考えたことがないに気づく。

傘にまつわる最近の動きを調べると、高額ながら販売数をどんどん伸ばしている元気な国内メーカーがあることを知った。いつでも、どこでも、しかも安価で手に入るビニール傘は実に便利な道具だ。重宝されるのもうなずける。一方、それとは異なる傘の新たな流れや息吹のようなものが生まれつつあると感じた。

そこで今号の「水の文化」は、多くの人が使っていると思われるビニール傘ではなく、あえて、こだわりをもつてつくられた傘やそれに携わる人・地域に目を向けた。こだわりの背後にある思いや情熱を知ること、ビニール傘も含めた日本の傘文化がはつきり見えてくるのではないかと考えたからだ。

雨の多い日本で、傘はどのように進化しているのか。果たして文化と呼べるものなのか……。海外との比較も通じて、日本人の傘に対する眼差しを探った。

目次

巻頭エッセイ

- ひとしずく
2 雨の音、傘の色
高橋順子

特集 雨に寄り添う傘

- 概説
6 傘と雨と日本人
神崎宣武
- 資料
10 日本の傘にまつわる略年表&傘の構造と和傘の工程

- 傘人1
12 雨を楽しむ傘文化を提供したい
——福井洋傘の「まねされないものづくり」
橋本 肇

- 傘人2
16 江戸時代から続く 岐阜・加納の和傘づくり
藤沢健一／大塚清史

- Interview
20 ファッションとしての傘
——イギリスとの対比から考える魅力とは？
中野香織

- 傘人3
22 魅惑のフォルムをつくりだす アートと日本の技術力
ジョン・ディチエザレ

- 傘人4
26 どこまでも理想の傘を追い求めて
林 秀信

- コラム
29 「傘の下の空間」と「雨に対する感性」
橋本 肇／大塚清史

- 地域レポート
30 「弁当忘れても傘忘れるな」
——言い伝えが生きる金沢市の貸し傘
石川県金沢市

- 文化をつくる
33 「傘の下の空間」を感じる文化
編集部

- 水の文化書誌 41
34 雨水利用をやってみよう
古賀邦雄

連載

- 食の風土記 2
36 水車によって広まった ほうとう
魅力づくりの教え 2
38 郊外化した過疎地に生まれる、「ゆるさ」の魅力
——徳島県名西郡神山町
中庭光彦

- Go! Go! 109 水系 7
44 川と人が保つ〈ほどよい距離感〉 那珂川
坂本貴啓

- センター活動報告
50 ホームページ コンテンツ紹介
51 編集後記／ご案内

(敬称略)

上流から運ばれてくるさまざまな物資が荷揚げされた長良川の中河原湊跡と岐阜和傘（番傘）。和紙や真竹といった和傘をつくる材料は、かつてここから加納地区へと運ばれた（撮影協力：岐阜市歴史博物館）

